



くりはらツーリズムネットワーク 会報

くりはら時間 ⑥

事務局(連絡先)

NPO法人 Azuma-re

〒987-2216

栗原市築館伊豆二丁目6番1号

市民活動支援センター貸事務室2

☎ 090-5597-2732

Fax 0228-22-5579

Email(代表) Kurihara.tn@gmail.com

くりはらツーリズムネットワーク会員紹介!!

○くりはらツーリズムネットワーク会員で伝統的工芸品の綿織物、若柳地織製造・販売「はたや」を紹介します!!



若柳地織元 はたや

所在地：栗原市若柳字川北塚の越12

電話/FAX：0228-32-3087

営業時間：午前9時～午後6時

定休日：不定休

若柳地区に「若柳地織元 はたや」があります。地織は明治より県内各地で生産されていましたが化学繊維の発達により衰退し、現在、生産されているのは若柳地織のみとなりました。

千葉さん宅では、地織を始めてから約100年経ち、創業当時は若柳新町で開業しましたが、現在の場所に移りました。

工場では、糸の精練→糸染め→糸巻→柄立て→織りまで全て行います。

ご主人の千葉孝順さんで三代目になります。現在、奥様と二人三脚で工場とお店を切り盛りしていて、近くに嫁いだ娘さんが時折手伝いに来てくれるそうです。



千葉さんご夫婦

「昔、若柳には、「行李(こうり)・蚊帳(かや)・地織」の三つの工芸品があって、今では行李と蚊帳は姿を消してしまい、私が続けないと、地織まで無くしてしまう…」と語っていました。

※柳行李：若柳は柳の成長に適し、若柳の地名も柳が多いことから由来しています。手仕事を主とする関係上機械化が出来ず、生活様式の変化もあって早急に普及は期待できません。衣類の保存、運搬、適度な通気性もあって不可欠のものでもあります。

※若柳蚊帳：婦人の指先の細工により縫製され、特徴としては盛夏の候に蚊帳をつっても涼風が自由に通過し暑苦しさを感じない。機械織の蚊帳が普及するようになって衰退していきました。古老の話によれば、作業賃は平均して一日米三升にあたり、一家に女手が三人もいれば男は働かなくても生活は成り立ち、こんなことから遊び人気風の若柳男を産んだのかも知れない。
(「若柳町史」より抜粋)

お店では、地織加工品(エプロン、ミニポーチ、ネクタイ)など、伝統を持つ縞木綿土地柄を表す織り方、縞の出し方にそれぞれ特徴がある商品が数々並んでおり、購入することができます。

取材にお伺いした日は、天気も良く、工場が稼動していて地織機械の音が響いていました。その音はどこか懐かしく、音に誘われるように工場の中へ入り、自動織機での製造工程を見せて頂きました。



※地織の製造は天候に左右されやすいそうです。

〇くりはらツーリズムネットワーク会員で花山地区の「山菜茶屋 ざらぼう」と「農場蕎麦 坊の蔵」を2軒紹介します。

<山菜茶屋 ざらぼう>



山菜茶屋 ざらぼう
 所在地:栗原市花山字本沢猪の沢6-6
 電話/FAX:0228-56-2980
 営業期間:4月第4土曜日～11月第3日曜日まで
 営業日時:土・日・祝日の午前11時～午後4時まで。ただし、売り切れ次第閉店いたします。なお、営業期間や営業日以外でも予約があれば営業いたします。ご相談ください。

<御品書き>

- 手打ちそば(手打ちそば(冷)・漬物)・・・800円(消費税込み)
- 釜揚げそば(手打ちそば(温)・漬物)・・・800円(消費税込み)
- そばだんご(汁物(温))・・・500円(消費税込み)

※そばの大盛りは200円増

※その他にもメニューはございます。



伊藤さんご夫婦

ご主人の廣司さんは「花山震災復興の会がんばっぺ」の事務局長でもあり、「花山の現状と災害支援制度」の講演を全国各地で行っており、忙しい日々を過ごされています。取材にお伺いした日も、平日でしたが団体の予約が入っていて、食後に近くの集会場で講演されるという事で、見学にお邪魔いたしました。廣司さんの説明はとても分かりやすく、私達も聞き入ってしまいました。震災に遭われた方々の苦勞が今も尚、続いている事が伝わりました。私達に出来ることは無いものかと考えさせられました。

<農場蕎麦 坊の蔵>



手打ちそば



そばだんご

農場蕎麦 坊の蔵
 所在地:栗原市花山字本沢太田 7-1
 電話/FAX:0228-56-2777
 定休日:不定休
 営業時間:午前11時30分～
 予約制:4名様からのご予約となります。

「農場蕎麦 坊の蔵」は、ご家族親子二代で経営をされています。ご主人の正幸さんがそばを打ち、奥様の菊子さんが料理を作り、息子さんご夫婦は、そばの栽培と店の接客をされています。坊の蔵では挽きたて打ちたてを楽しんでもらうため、予約に合わせ、朝にそば粉を挽きます。自宅で採れた旬の野菜とそばを堪能してもらうため、そばの懐石料理一品のみとなり、4名様からの予約制となっています。

<御品書き>

- 花の山・川フルコース・・・2,000円(消費税込み)

本格的な冬が来る前に花山の手打ちそばを食べに足を運んでみてはいかがでしょうか!!



後藤さんご家族

NPO基礎講座 ～はじめてのNPO～

「NPO法人を立ち上げたい！」でも・・・NPOって何だろう？
 そんな皆様にお届けする夜間開催のNPO基礎講座です。

- ①NPOって何だろう？～NPOのイロハ～
- ②NPO法人と任意団体の違いって？
- ③NPOを法人にする長所と短所？
- ④質問タイム(NPOに関する質問があれば何でも)

【講師】大久保 朝江(特活)杜の伝言板ゆるる代表理事
 【日時】11月18日(木) 18:30～20:30
 【場所】栗原市市民活動支援センター
 【資料代】500円
 【定員】先着30名
 【主催】宮城県(みやぎNPOプラザ)
 【共催】栗原市・NPO法人 Azuma-re
 【企画・実施】(特活)杜の伝言板ゆるる
 【申込問合せ】みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533
 NPO法人 Azuma-re TEL:0228-21-2060 FAX:0228-21-2061

お知らせ



■くりはらツーリズムネットワーク役員会が先月行われました。

日付：10月4日(月)、14日(木)、25日(月)、29日(金)

場所：栗原産業経済部田園観光課事務室

出席者：(役員：会長 小野寺 敬、副会長 千葉 静子、副会長 馬渡 達也)

オブザーバー：庄司 正秀氏、高奥 満氏、伊藤 紳氏

事務局：伊藤 仁志、大場 寿樹、高橋 幸代、千葉 和義

◎くりはらツーリズムネットワークの組織として

(1) 組織体制、事業の実施について

○組織体制については、継続して協議をする。

・事業を実施し、組織を整備する。

○事業の実施については、「くりはらツーリズムネットワーク交流事業企画(案)」の実施

くりはらツーリズムネットワーク交流事業「オンパク」手法を年内に開催

事業の名称：「らいん」

「らいん」を事業名称とする。方言での「まざらいん」や「ライン(線)」、「来(らい)」などの意味を持たせる。
・次回、第6回役員会にて、ジャパンオンパク代表理事の鶴田 浩一郎氏が、栗原市へ立ち寄り、役員会出席者で鶴田氏の話聞く場を設ける。

・11月11日(木)からの3日間、第九回全国グリーン・ツーリズムネットワーク岐阜・三重大会に、小野寺会長、千葉聡(たかまった代表)の2名、事務局から佐藤(田園観光課)、千葉(有)(NPO法人 Azuma-re)が参加。

オンパクとは・・・

大分県別府市の温泉地で「別府八湯」を中心に始まったイベントで「温泉博覧会」を略して「オンパク」と名づけました。オンパクは「プログラム」と呼ばれる小規模の体験交流型イベントを沢山集めて短い期間に開催します。ガイドさんの案内で町を歩いてみる、緑豊かな里山で地元の人と交流しながら地域の豊かさを感じる、歴史的な空間で地元アーティストのイベントを楽しむ、温泉の力で元気できれいになる、そして、地元の採れたて素材を使ったお食事を楽しむ。色々なプログラムを通じて見えていなかった地域の魅力が再発見されます。まずは、住民が自分たちの暮らしている地域の素晴らしさを知る、自分たちの町でがんばっている人たちがたくさんいるということを知る、そんな事から地域の再生はスタートしていくのだと考えています。オンパクは、パートナーと呼ばれるプログラムを提供する地域の人々が主役です。パートナーの皆さんは、オンパクのプログラムを通じて地域の資源を使った新しい商品やサービスが世の中に受け入れられるかを試しています。これまでに実現できなかった夢や挑戦を実現するための場所をオンパクは提供しています。オンパクからスタートした地域の魅力を伝える活動、地域の資源を活かしたコミュニティ・ビジネスなどがオンパクでの挑戦をきっかけに続々と誕生しています。オンパクは、人々の挑戦を支えることで地域を創る取組みなのです。

一迫のお米を食べて一緒に球根を植えましょう

「南くりこま高原一迫ゆり園」では11月に「球根栽培イベント」が開催されます。参加したい方はオーナーを随時募集しておりますので、「一迫ゆり園球根オーナー」にまず、ご登録頂きイベントにご応募下さい。

【日付】平成22年11月14日(日)

【場所】南くりこま高原一迫ゆり園

【内容】◇美しい花が咲いてくれるように、球根を植えます。

植栽指導・・・ゆり園栽培部長(どんな質問にも答えてくれます)

◇一迫のお米で美味しいご飯と地元の安全・安心野菜で食事をします。

おまけに「川口納豆」もついてきます。

【問合わせ先】南くりこま高原一迫ゆり園 TEL:0228-52-4551 又はオーナー園担当 黒澤 TEL:090-7791-3159



<南くりこま高原一迫ゆり園球根オーナー会員募集中!!>

一迫ゆり園に自分の花園を作り、指導を得ながら植栽管理を体験し、花に親しみ、オーナー同士及び地元の方との交流を大切にしてみませんか?栗原に元気をくれる人!花に興味のある人なら誰でもなれます!

※秋植えオーナーの募集は終了致しましたが、春植えオーナーは募集中です。

【会費】1年間11,000円(1区画3.3㎡ 球根スカシ系30球 オリエンタル系20球)

【募集区画】100区画(応募者が多い場合は抽選と致します)

【申込期間】平成22年7月1日(木)から12月10日(金)

【問合わせ先】南くりこま高原一迫ゆり園 TEL:0228-52-4551(担当に転送されます)

くりはらツーリズムネットワーク

会員募集

実践者も興味のある人も一緒に

例えば、地域のイベントで交流事業を企画したい。農家民宿やレストラン、自宅ショップを開きたい。地元のことをもっと知りたい。とか。取り組むきっかけや学ぶ場があれば、小さな一歩が踏み出せるのかもしれませんが。この会は、ツーリズムで何かを実現していきたい人々がつながって、互いの夢や希望を実現していく場です。

活動内容

○研修

- ・会員相互の活動の視察（年に数回、定例で懇談会）
- ・会員向け研修会の実施（視察を含む）
※行政、他機関と連携した事業も有り

○広報

- ・会員の活動をWebで紹介、行政・報道等に広報
- ・会報紙の発行

○交流

- ・市内外の人々との交流事業
※ワーキングホリデー、インターンなど

○その他

- ・目的を達成するために必要な事業



交流事業を企画したい



会費

○会員 本会の趣旨に賛同する栗原市民

- ・会費（個人） 1,000 円/年 ※同一世帯の範囲
- ・会費（団体） 3,000 円/年

※法人、任意団体等、複数人が構成員になっている組織。
※個人が雇用している人を本会の事業に参加させたい場合。

○賛助会員 本会の趣旨に賛同し、応援してくれる方

- ・会費 105,000 円（年）

問い合わせ先

【事務局（連絡先）】

あづまーれ
ONPO 法人 Azuma-re

〒987-2216 栗原市築館伊豆二丁目6番1号 栗原市市民活動支援センター貸事務室2
Tel 090-5597-2732 Fax 0228-22-5579

○くりはら研究所（栗原市産業経済部田園観光課）

〒987-5612 栗原市志波姫新熊谷284番地3（くりこま高原駅内）
Tel 0228-22-1151 Fax 0228-23-5370

【事務所】

○栗原市 産業経済部 農林振興課

〒987-2293 栗原市築館薬師一丁目7番1号（ふるさとセンター内）
Tel 0228-22-1135 Fax 0228-22-0315

Email（代表） kurihara.tn@gmail.com